

1. 大会概要

- 正式名称： 2015東京国際ユース(U-14)サッカー大会
- 日時： 2015年4月29日(水)から5月5日(火・祝)
うちサッカー大会は1日(金)～4日(月・祝)
- 規模： 14都市、16チーム、約320名の監督・コーチ、選手等が参加。
海外からは北京、ベルリン、カイロ、ジャカルタ、モスクワ、ニュー・サウス・ウェールズ(オーストラリア)、ソウル、サンパウロ、ブエノスアイレスから9チームが参加。
- 主催： 東京都、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団、公益財団法人東京都サッカー協会

2. 翻訳アプリの活用

- ジャカルタチームと東京都市大学等々力中学校との交流(30日(木))
ジャカルタチームが東京都市大学等々力中学校を訪問した際に、選手と日本人生徒が翻訳アプリ「VoiceTra4U」を用いて1対1のコミュニケーションを実施。
- 選手交流会及び送別会(30日(木)、1日(金)、2日(土)及び4日(月・祝))
選手等の相互交流において「VoiceTra4U」を活用。

3. 生徒・選手の感想

<評価するもの>

- ・アプリを使うことで会話が進んだ。
- ・言いたいことが通じてすごいと思った。
- ・今後も外国人が来たときに使ってみたい。

<課題に関するもの>

- ・専門用語(サッカー用語)の翻訳が難しい。
- ・固有名詞(サッカーチーム名)の翻訳が難しい。
- ・訳してもらった文を考えるのに苦労した。

4. 今後の対応

- 日本人生徒及び各チーム選手の感想を取りまとめ、総務省へ提供するとともに、今回の結果を踏まえ、2020年大会開催都市として期待する技術開発の方向性などについて要望。
- 引き続き総務省及び区市町村等と連携し、実証機会の拡大を図る。

選手達の主な会話

- ・ポジションはどこですか。
- ・靴を交換しよう。
- ・交換したい。でもコーチの了解が必要。
- ・好きなサッカー選手は。
- ・僕の髪型はかっこいいか。
- ・イタリアでプレイしていた。
- ・君は外国でプレイしたことがありますか。

※ 会話例は同行者聞き取り



ジャカルタチームと等々力中学校サッカー部生徒との交流会



オーストラリアチームとFC東京ユースチームの会話



モスクワチームとサンパウロチームの会話(ロシア語⇄ポルトガル語(ブラジル))